

# チャレンジ

旭川大学高等学校 ライセンスコースたより NO6(210)2018.7.24

## 夏休みを有意義に ——子どもの読解力の危機——

いまや、この言葉を見ない日がないほど、人工知能(AI)は世の中に普及している。10~20年後、人間の仕事の約50%がAIやロボットによって置き換わるという見方もある。AIが私たちの仕事を代替する未来とは、どのような社会なのか。そして、そんな時代の到来に備え、今を生きる私たちは何をすればいいのか。AIで東大受験は化をユニークなプロジェクトの責任者を務めるとともに、子どもの読解力が低い現状に警鐘を鳴らす国立情報学研究所の新井紀子教授に聞いた。

「ロボットは東大に入れるか」というプロジェクトを2011年に始めました。

この結果は、  
「中高生の多くは、詰め込み教育の成果で、英語の単語や世界史の年表、数字の計算など表層的な知識は豊富かもしれませんが、しかし

これはAIも得意な分野です。AIは私たちの社会にものすごい勢いで浸透しており、人間の仕事の多くがAIに代替される社会が迫っています。既に仕事の一部をAIにさせている金融機関や新聞社などがありますよね。AIが労働力として、私たちのライバルとなる可能性が高いのです」

「AIにも弱点があります。英語や歴史の年表を見るのは得意でも、文章の『意味』を理解するのは苦手です。将来、残ると思われる仕事は、読解力を基盤とするコミュニケーション能力や、人間らしい柔軟な判断力が求められるでしょう。」

### 読解力の向上

「一つは教科書を毎日、書き写すこと。3分間に何文字を書けたかを確認して、100字以上書けるようになることが目標です。もう

一つは、数学や社会を含めた教科書の音読です。文章を正しく読むことは読解力向上の第一歩です。読解力をつけないと、どんな未来が待っているのでしょうか。読解力がなくて、成績の差が開き、将来的には経済的な格差を広げることにつながりかねません。AIと共存する社会では、市民として、社会人として、生活する上で不利にならないように、きちんと文章を読めるようになることが必要です。」(北海道新聞6月30日付)

8月17日(金)  
集会・授業

## ビジネス文書検定試験合格者

1級

1級(文書)

歌原 健太<sup>302</sup>

鈴木 雅美<sup>303</sup>  
藤森 勇斗<sup>203</sup>

今井 優奈<sup>303</sup>

大戸 遙奈<sup>203</sup>

2級

中川 優有<sup>202</sup>

中村 柊月<sup>202</sup>

林 柊平<sup>202</sup>

小原 樹李<sup>302</sup>

高橋 結奈<sup>203</sup>

長田 蒼<sup>203</sup>

黒田 真希<sup>302</sup>

2級(速度)

2級(文書)

小野 寺未幸<sup>202</sup>

鈴木 那緒奈<sup>202</sup>

土佐 優輔<sup>302</sup>

長尾 帆乃香<sup>202</sup>

久保田 悠斗<sup>203</sup>

## 夏休み講習会

| 時間          | 講習日      | 7/25 | 7/26 | 7/27 | 7/30 | 7/31 | 8/1 |
|-------------|----------|------|------|------|------|------|-----|
|             |          | 水    | 木    | 金    | 月    | 火    | 水   |
| 9:00~12:00  | ビジネス情報級  | ○    | ○    | ○    | ×    | ○    | ○   |
| 9:00~12:00  | ビジネス情報級  | ○    | ○    | ○    | ×    | ○    | ○   |
| 9:00~12:00  | 全経簿記2・3級 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×   |
| 13:00~15:30 | 情報処理3級   | ○    | ○    | ○    | ×    | ○    | ○   |
| 13:00~15:30 | 復習クラス    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×   |